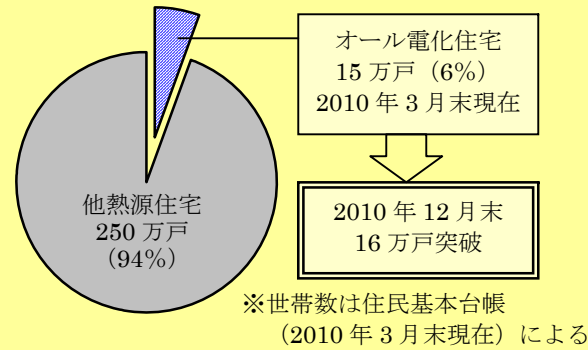
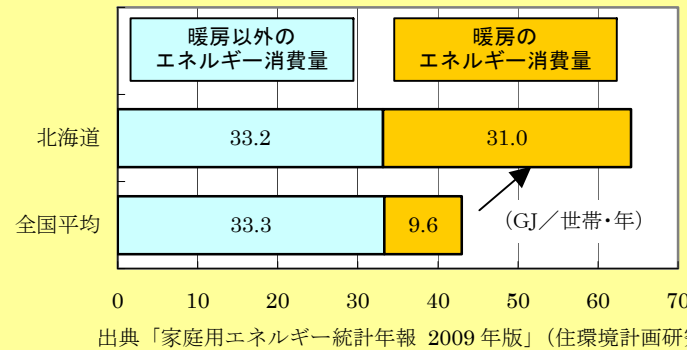


中期経営方針（2011～2013年度）の概要

北海道の地域特性

- 北海道には膨大な熱需要が存在
- ヒートポンプ電化の推進により、お客さまの省エネルギーに貢献
 - ・ 道内の暖房用エネルギー消費は全国平均の約3倍
 - ・ 道内の既設住宅の9割超が他熱源住宅



北海道における電気事業を中心とした事業運営の推進

- ほくでんグループの中核事業である電気事業およびその周辺において着実な成長を図ります。
- 電気の供給面・需要面の双方において、低炭素社会の実現に向けた取り組みを進めます。

2011～2013年度における重点取り組み事項

- 東日本大震災に伴う大規模停電や福島第一原子力発電所で発生した事故を踏まえ、泊発電所の安全性の確保を大前提に、ほくでんグループの使命である「電力の安定供給」に向け、必要な対策を的確に講じていきます。

【電力の安定供給の確保】

- ・ 泊発電所のさらなる安全性の向上に取り組み、安定運転を継続いたします。
- ・ 当社初となる **LNG火力発電所の導入計画** を推進します (導入目途：平成30年代前半)。
- ・ 計画的かつ効果的な設備経年化対策を実施するとともに、費用の低減に取り組みます。

【省エネに資するヒートポンプ電化の推進】

- ・ 「お客さまの視点に立った最適なエネルギーシステム・サービスの推奨」を基本に、省エネルギー・低炭素化に貢献するヒートポンプ電化を推進し、北海道における **「ヒートポンプ文化」の確立** を目指します。

【人材育成と技術継承】

- ・ **若手社員の早期育成と技術・技能の確実な継承** を進め、設備の経年化に伴う保守作業量の増大などの経営課題に的確に対応します。

【新たな経営環境への対応】

- ・ 再生可能エネルギーのさらなる活用に向け、伊達ソーラー発電所に続くメガソーラーの導入や、風力発電の導入拡大、石炭火力発電所における木質バイオマス混焼に向けた検討を進めます。
- ・ 業務運営体制の整備やグループ経営の最適化を進めます。

【地域・社会との共生】

- ・ 業務品質向上に向けた取り組みを継続するとともに、コンプライアンスの徹底を図ります。
- ・ 安全衛生活動を充実させ、労働災害の根絶を目指します。
- ・ 北海道に根ざす企業として、地域・社会との共生に向けた取り組みを展開します。

ほくでんグループを取り巻く経営環境の変化

- 人口減少や省エネルギーの進展などによる電力需要の伸びの鈍化
- 地球温暖化対策の強化
- 発電・流通設備の経年化の進展
- ベテラン社員の大量退職 (今後10年間で社員の4割程度が退職)